

すてきなひと

1月 2月

令和8年1月19日
板橋区立板橋第八小学校
STEP UP 教室
「すみれ」通信
TEL03(3963)4181
No. 5



本年もみなさまにとって、素晴らしい一年になりますように。
どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年1月 ステップアップ教室一同

冬休みも終わり、寒さにも負けない、子どもたちの元気な笑顔がとても印象的です。年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。

さて、3学期初回の「冬休みスピーチ」では、ご家族で楽しい時間をお過ごしになった様子が、とても良く伝わってきました。年末年始にちなんだ風習に子どもたちが触れたことや、家族の一員として大掃除等の手伝いをしたことなど、ご家庭での取り組みが、子どもたちの生活経験を豊かに広げていると感じました。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」3学期は短く、あっという間に過ぎていきますが、学年の大切なまとめの学期です。

本年も、保護者の皆様や担任の先生方との連携を大切に、子どもたちの成長を支えていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

《3学期の予定》

○1月

【月曜クラス 巡回指導日】

19日 3学期巡回指導開始

26日

【金曜クラス 巡回指導日】

9日 3学期巡回指導開始

16日、30日

※23日 在籍級訪問（指導なし）

○2月

【月曜クラス 巡回指導日】

2、9、16、

20日（金）

※20日は金曜日ですが、日数調整の都合で、月曜クラスの指導となります

【金曜クラス 巡回指導日】

6、13、27日

【3学期末保護者面談日】

・3月23日（月）

上記の日程で予定しています。

あらかじめ、面談日・時間の調整のご協力を
よろしくお願いいたします。

《学習予定》（※指導内容は随時変更の可能性あります。）

月曜1グループ（1時間目）

- ◎友達と運動ゲームをしながらなかよくやろう
「ながなわ ・白黒ゲーム」
- ◎説明をよく聞いて、手順を守ってすすめよう
「まくだけロケット」

月曜2グループ（3時間目）

- ◎じぶんのいきごとや気持ちをあい手にうまくつたえよう
「冬休みスピーチ」
- ◎ともだちとげきをしながらなかよくなるよう
「ウヒアハ大ピンチ（仮）」

月曜3グループ（5時間目）

- ◎自分の出来事や気持ちを相手にうまく伝えよう
「冬休みスピーチ」
- ◎友達とゲームをしながらなかよくなるよう
「ぼうすめくり」 「ジェンガ」
- ◎友達と運動ゲームをしながらなかよくなるよう
「よくみてまねる」 「白黒ゲーム」

金曜1グループ（1時間目）

- ◎じぶんのできごとや気持ちをみんなにうまくつたえよう
「すぴいち『ふゆやすみ』」
- ◎お正月あそびをしながらなかよくなるよう
「ふくわらい」 「かるた」
- ◎いろいろなうんどうにちょうせんしよう
「よくみてまねる」 「たんなわ」 「しろくろゲーム」

金曜2グループ（3時間目）

- ◎自分の出来事や気持ちを相手に分かりやすく伝えよう
「スピーチ『冬休み』」
- ◎中学進学に向けて見通しをもとう
「チャレンジ中学生・生活編・部活編」

○第2回 専門家相談の報告

- ・日時：令和7年8月29日
- ・講師：孔 順姫先生（作業療法士）

・作業療法とは？

作業療法(OT: Occupational Therapist)とは、その子の苦手なことなどで「やりにくい」と感じる動作を、遊びや好きな活動（作業）を通して練習すること。学校生活や、ふだんの生活を、もっとスムーズに、楽しく送れるようにサポートするリハビリの一種。

・内容

1. よく見てまねる

- ・体育の授業前に行われる準備体操のような物を行います。

2. キャッチボール

- キャンディボールを使って i) 両手投げ ii) 片手投げ
小さなスポンジボールを使って i) 両手投げ ii) 片手投げ

3. バランスボール

- 座る i) 片足上げ 寝転ぶ ii) 仰向け・転がる iii) うつぶせ・転がる



4. キャスターボード

- 壁を蹴る i) スーパーマン→手でパドリングしながら戻る



5. 迷路（簡単な迷路に挑戦）

6. 書き書きしりとり（ホワイトボードを使って）

講師：「りんご」からスタート→子：「ごりら」→講師：「ラッパ」→子：「パンツ」…

7. アイソメトリクス運動

- i) まんまるたまごのポーズ
- ii) 飛行機のポーズ



8. お馬さんのポーズ

- i) ポーズを取る（左右入れ替えて）
- ii) ポーズを取りながら簡単な足し算（同時作業）



9. 目の体操

10. 手の体操

11. バランス

- i) 片足立ち1（10秒） ii) 片足立ち2（あげた足前後） ※左右の足をかえて

12. ジャンプ

○本日の講習見学で、作業療法についての理解が深まりました。作業療法は「遊び」や「好きな活動」という、子どもが前向きになれるアプローチを採る点に感銘を受けました。「やりにくい」と感じることを、本人の「好き」な力で乗り越え、学校や日常生活を楽しく送れるよう支援する、非常に温かく実用的なサポートだと感じました。